

YAC本部運営委員会 子ども部会報告

平成22年1月23日

日本宇宙少年団本部運営委員会
子ども部会

平成21年度YAC活動について

1. YAC分団・団員が共通の意識を持って取り組むことのできる、プログラムを実施。①共通プログラム、②月別トピック、③モデル活動の3段階に分けて計画。

①共通プログラム

YAC団員が必ず取り組むプログラムとして、今年度は、「皆既日食」・「ロケット・人工衛星」を選定。

②月別トピック

各月のトピックに関する情報を提示。

③モデル活動

各月のモデルとなる活動を提示。

※②～③については、宇宙教育だよりとしてEメール配信(11月～1月は未配信)をおこなった。

2. 共通プログラムを実施するにあたっての目標として、①水ロケットの全国大会(11月22日)、②子ども衛星アイデアコンテスト(12月～1月)を実施。

3. 上記とは別に、ホンモノ体験活動を本部活動として提供。

4. YAC団員向けに、宇宙教育テレビ(月2回)、宇宙のとびらの配布(年4回)、₂宇宙教材の配布(年5回)、YAC通信(配布物に封入)を実施。

21年度活動

共通プログラム
 ロケット・人工衛星 (8月～9月:子ども衛星アイデアコンテスト/11月:水ロケットコンテスト2009)
 皆既・部分日食観察 (7月22日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月別トピック	 ガガーリン人類初の宇宙飛行 (4/12)	 宇宙基本計画の制定	 「きぼう」の完成	 皆既日食 (7/22)	 H-IIA/H-IIBロケット打上げ (夏季)	 宇宙の日 (9/12)	 世界宇宙週間	 水ロケットコンテスト 11/22 (全国大会)	 野口宇宙飛行士長期滞在	 2010年注目トピック (プラネットCなど)	 おおすみ打上げ40周年 (2/11)	 山崎宇宙飛行士(副団長)宇宙へ
モデル活動	 大気と真空について考えよう (活動教材集)	 宇宙☆未来創造プロジェクト	 作文・絵画コンテスト (4月～7月)	 木漏れ日観察		 水ロケット活動 (活動教材集)	 太陽系の大きさを体感しよう (活動教材集)	 自然観察 (活動教材集)	 宇宙食作り (活動教材集)	 手作り望遠鏡 (活動教材集)	 人工衛星をよく知ろう (活動教材集)	 宇宙服 (活動教材集)
ホンモノ体験活動	 つくばスペースキャンプ 3/29-30		 ロボットアーム (活動教材集)	 皆既日食キャンプ 7/20-24 小4-中3 (種子島)	 種子島スペースキャンプ 8/17-21 小4-中3	 H-IIロケット打上げ見学体験活動 9/10-11 リーダー対象	 銀河教室 inつくば 9/20-21	 ハロー! ヒューストン! (宇宙飛行士さん、こんにちは!) 8/29 12/27	 子ども衛星アイデアコンテスト 12/1-1/31	 2010 YAC夢プロジェクト 1/1-2/15	 NASA 2大宇宙センター体験活動 3/15-22	 年間の振り返り活動
グッズ販売 (参考)						 ▲「きぼう」日本実験棟完成記念レプリカブルスーツの販売			 ▲リュース打上成功記念レプリカブルスーツの販売 ▲福袋 限定100個販売 ▲「宇宙飛行士になった子どもたち」 YAC企画岩崎書店発行			

宇宙教育テレビ(月2回)／宇宙のとびら(年4回)／宇宙教材の配布(年5回)／YAC通信(配布物に封入)

JAXA × YAC宇宙連携 子ども向け宇宙・科学冊子「宇宙のとびら」

発行：JAXA宇宙教育センター
 編集：「子供の科学」編集部誠文堂新光社
 発行・編集協力：日本宇宙少年団（YAC）

宇宙教育センターにおけるコスミックレッズや指導者セミナー参加者及びYAC会員を対象に配布

	創刊号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号
--	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----



▲
 月探査機「かぐや」の打ち上げにあわせて月をテーマにした記事を中心にお届けします



▲
 国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟の打ち上げを特集します。



▲
 超高速インターネット衛星「きずな」をご紹介します。



▲
 打ち上げに成功した「きぼう」の「船内実験室」を特集します。



▲
 国際宇宙ステーションを実際に目で見る方法をご紹介します。



▲
 日本人として初めて国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在クルーとしてスペースシャトルに搭乗し宇宙飛行する若田宇宙飛行士が特集されます。



▼
 打ち上げから1年たった！月周回衛星「かぐや」が伝えたデータからわかってきたことを紹介します。



▼
 ISSに長期滞在中の若田光一宇宙飛行士についての最新情報を紹介します。



▼
 打ち上げに成功した日本の新型ロケットH-II-2Bについて紹介します。

YAC会員向け配布教材

宝くじ協会
助成事業

子ども宇宙教育活動用教材の製作及び配布

(平成21年4月～平成22年3月)

	4月	5月	6月 1回目	7月	8月	9月 2回目	10月	11月 3回目	12月	1月 4回目	2月 5回目	3月
テーマ			太陽系 ものがたり ～日食～			月 ものがたり		地球 ものがたり		ロケット ものがたり	月 ものがたり	
ペーパークラフト または 工作物			日時計の 作り方			セレーネペーパー クラフトの 作り方		地球プレートパ ズルの 作り方		スペースシャトル ペーパークラフト の作り方	(企画中)	
												
	国立天文台や天文写真家の方からお借りした、皆既日食の素晴らしい写真が満載！			「子供たちが自分の手を動かして、発見しながら学べる要素も重要」と宮崎先生。工作しながら楽しめるキットも毎月ついてくる。			「カラーで図版をふんだんに使った楽しい誌面」を目指して作られている宇宙学習シリーズ。広げると机からはみ出してしまうほどのワイドサイズ。科学のエッセンスがぎっしりと詰まっている。		インパクト大な天体写真満載の誌面。星の様子だけでなく、天体写真技術の進化の舞台も見ることができる。			

地区大会



地区大会

「日本水ロケットコンテスト2009」は、全国約130分団で宇宙教育実践活動を行う日本宇宙少年団を中心に、今夏以降、全国10地区14会場にて地区大会を開催し、定点部門、飛距離部門から上位2名を選出し、4名の異年齢チームにより決勝大会を目指しました。

コンテスト参加資格

日本宇宙少年団を中心に、一般参加者を含む小学4年生～高校3年生の男女。

競技内容

定点部門：飛距離50m先に的となる円を描き、円中心を狙って飛ばし、一番近くに落下させる。

飛距離部門：手押しポンプで規定量の空気を入れ、出来るだけ遠くに飛ばす。

大会スケジュール(開催10地区14会場)

- ①北海道地区(1会場) 8月29日(土)北海道(余市郡余市町)余市町運動公園
- ②東北地区(1会場) 分団内より選抜
- ③関東地区(2会場) 8月23日(日)群馬県(館林市)向井千秋記念子ども科学館 東広場
7月20日(月・祝)神奈川県(相模原市)三段の滝下 多目的広場
- ④北陸地区(1会場) 10月17日(土)石川県(金沢市)キゴ山天体観測センター
- ⑤東海地区(2会場) 8月 2日(日)愛知県(一宮市)光明寺公園球技場
9月21日(火)岐阜県(各務原市)かかみがはら航空宇宙科学博物館
- ⑥近畿地区(1会場) 7月26日(日)兵庫県(芦屋市)芦屋市総合公園
- ⑦中国地区(1会場) 9月20日(日)広島県(呉市)呉ポートピア公園隣接埋立地
- ⑧四国地区(1会場) 分団内より選抜
- ⑨九州地区(2会場) 8月28日(金)～30日(日)熊本県(阿蘇市)国立阿蘇青少年交流の家
10月17日(土)～18日(日)鹿児島県(霧島市)県立霧島自然ふれあいセンター
- ⑩沖縄地区(1会場) 分団内より選抜

愛・地球博記念
「日本水ロケットコンテスト2009」
(決勝大会)

2009. 11. 21～22
愛・地球博記念公園大芝生広場

実施概要



(1)実施概要

タイトル： 愛・地球博記念「日本水ロケットコンテスト2009」

日時： 平成21年11月21日(土) 11:00~20:00
22日(日) 10:00~17:00

会場： 愛・地球博記念公園

◎大芝生広場

水ロケット競技会、打上げデモンストレーション、ミニペンシル型水ロケット工作教室

◎温水プール・アイススケート場間 外部ホワイエ

宇宙開発展示(JAXA・YAC・IHIエアロスペース・MHI)、宇宙服試着コーナー、
宇宙グッズ販売

あいち健康プラザ

◎親睦会(健康宿泊館3F お食事処「サルテー」)

参加対象： 小学4年生～高校3年生及び一般

目的： 愛・地球博記念「日本水ロケットコンテスト2009」は、科学の楽しさや不思議さに触れ、科学への関心や冒険心、探究心を喚起するとともに愛・地球博の理念を継承し、全国の子ども達とふれあうことにより、科学的思考やチームワークを育み、宇宙を通して地球的課題の解決に貢献できる青少年育成を目的とする。

実施概要



(2) 主催

愛・地球博記念「日本水ロケットコンテスト2009」実行委員会
構成／愛知県、日本宇宙少年団(YAC)、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、
NPO法人子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)

(3) 共催

財団法人日比科学技術振興財団

(4) 後援

内閣官房 宇宙開発戦略本部、文部科学省、経済産業省、株式会社中日新聞社、
全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科研究協議会、日本ロケット協会、
日本機械学会宇宙工学部門運営委員会、日本航空宇宙学会

(5) 協賛

(株)IHI、(株)IHIエアロスペース、日本航空、日本電気(株)、日本無線(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、
(社)中部航空宇宙技術センター、名古屋情報メディア専門学校/名古屋医療情報専門学校、
アリアンスペース社、フランス国立宇宙研究センター(CNES)

(6) 協力

サントリー C・Cレモン

(7) 来園者数

11/21(土)5,700人(うち、大芝生及び展示コーナー来場者数は約600人)

11/22(日)5,500人(うち、大芝生・工作教室・展示コーナー来場者数は約700人)

実施概要

(2) 会場レイアウト

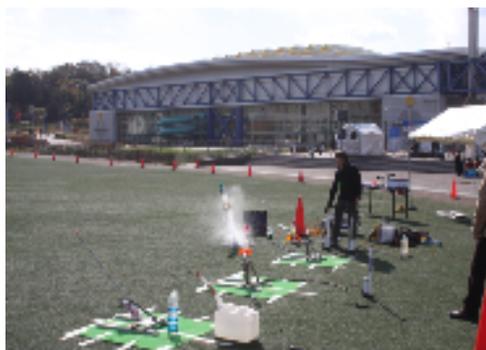


実施プログラム(1日目:21日(土))



時間	活動内容	場所
11:00~14:30	デモンストレーション飛行 (パラシュート型水ロケット、ペンシル型水ロケット) 11:00~/12:00~/13:00~/14:00~・各回30分ずつ実施	愛・地球博記念公園・大芝生広場
12:00~17:00	宇宙開発展示、宇宙服試着体験コーナー	温水プール、アイススケート場間 展示会場
15:00~17:00	ロケット専門家による講演会 一般参加プログラム(事前申込制) 「ロケットが拓く未来」 的川泰宣氏 「きみもロケット博士になろう！」 JAXA職員 竹前俊昭氏	愛知国際児童年記念館「こどもホール」

活動写真



(デモンストレーション飛行)



(宇宙開発展示会場)



(愛知国際児童年記念館「こどもホール」)



(的川泰宣氏による基調講演)



(竹前俊昭氏による講演)

実施プログラム(2日目:22日(日))



時間	活動内容	場所
【工作教室】 9:00~11:45	ミニペンシル型水ロケット製作・打上げ体験教室 (一般参加プログラム(事前申込制))	愛・地球博記念公園 屋根付テント内
【展示】 9:00~17:00	宇宙開発展示、宇宙服試着体験コーナー	温水プール、アイススケート場間 展示会場
【競技会】 10:00~	閉会式	愛・地球博記念公園 大芝生広場
10:15~11:45	機体審査、水ロケット競技会(定点部門)	
11:45~12:45	デモンストレーション飛行 (モデルロケット、アイデア水ロケット)	
12:50~15:10	水ロケット競技会(飛距離部門)	
15:10~15:40	表彰式・閉会式 (愛知県副知事 稲垣隆司氏、(財)日本宇宙少年団理事 長 松本零士氏)	
15:40~16:00	デモンストレーション飛行 (パラシュート型水ロケット、ペンシル型水ロケット)	

活動写真(2日目:22日(日))

【工作教室】



◆一般参加プログラムへの応募について

『愛・地球博記念「日本水ロケットコンテスト2009」講演会』(11月21日(土))

(1)参加費:無料 (2)定員:150名(先着順・定員になり次第締切) (3)応募資格:小学校高学年から高校生までとするが、小学校低学年は保護者同伴(18歳以上で1名のみ)で参加。

『愛・地球博記念「日本水ロケットコンテスト2009」ミニベンシル型水ロケット製作・打上げ体験教室』(11月22日(日))

(1)参加費:無料 (2)定員:100名(※9時(受付開始8時30分)・10時20分(受付開始10時)の2回実施 いずれも定員50名、定員になり次第締切)

(3)応募資格:小学校高学年から高校生までとするが、小学校低学年は保護者同伴(18歳以上で1名のみ)で参加。

◆参加申込みの方法について

・事前申込制により、先着順で受付を行い定員になり次第終了とした。

・往復はがきで必要事項(郵便番号、住所、参加児童・生徒(小学校低学年の場合は保護者)の氏名・ふりがな、年齢、電話番号)、希望される活動名(①講演会、②ミニベンシル型水ロケットのいずれか1活動を記入)を往復裏面に記入の上、下記の「申込先・問い合わせ先」まで応募とした。

・1枚の往復はがきで上記の①、②のいずれか1活動あたり・最大3名まで申込が可能とした。返信用はがきの表面に返信先の住所、氏名を記入いただき、返信表面は、当日の参加券とした。

◆申込先・問い合わせ先について

460-8501(住所記載不要 郵便番号を必ず記載ください。) 愛知県産業労働部新産業課科学技術推進室内
愛・地球博記念「日本水ロケットコンテスト2009」係 電話052-954-6349

「ミニベンシル型水ロケット」工作教室の様子



※当日は、1回目子ども44名、保護者16名の計60名／2回目47名、保護者22名の計69名の方が参加されました。

活動写真(2日目:22日(日))

【宇宙開発展示・宇宙服試着コーナー】



宇宙服試着人数

11/21(土)子ども43人、大人26人 計69人

11/22(日)子ども73人、大人53人 計126人

活動写真(2日目:22日(日))

【競技会】

(開会式の様子)



(水ロケット競技(定点部門)の様子)



順位	所属	選手名	時間	距離	備考
1	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
2	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
3	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
4	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
5	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
6	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
7	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
8	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
9	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	
10	大阪府立中央高校	山本 悠	1:12.0	1.50m	

活動写真(2日目:22日(日))

【競技会】



(モデルロケット デモンストレーション飛行)



(アイデア水ロケット デモンストレーション飛行)

活動写真(2日目:22日(日))

【競技会】 (水ロケット競技(飛距離部門)の様子)



活動写真(2日目:22日(日))

【競技会】(表彰式・閉会式の様子)



(ご協力:サントリー C・レモン)



(雨により急遽屋内にて表彰式・閉会式)



(愛知県副知事 稲垣様よりご挨拶)



(松本理事長よりご挨拶)



(的川実行委員長より表彰)



(YAC足立梨花キャプテンより副賞授与)



(愛知県産業労働部長富吉様よりご挨拶)



(総合優勝のワイト・フォース近畿チーム)



(記念撮影)

日本水ロケットコンテスト2009

- [トップ](#)
- [イントロ](#)
- [競技内容](#)
- [地区大会](#)
- [お問い合わせ](#)
- [参加チーム](#)
- [結果](#)

参加チーム

《北海道》

ベアーズ

定点 川島崇史さん
 定点 寺林実樹哉さん
 飛距離 高橋拓匡さん
 飛距離 小森晴輝さん
 リーダー 河田寛史さん
 リーダー 細川正直さん

《東北》

みらのく連合

定点 須知高匡さん
 定点 深谷功一さん
 飛距離 野村太郎さん
 飛距離 小林寛季さん
 リーダー 山中駿さん
 リーダー 磯海新也さん

《北関東》

マーキュリーレッドストーン09

定点 荒井俊徳さん
 定点 近藤翔悠さん
 飛距離 荒井伸亮さん
 飛距離 石橋毅風さん
 リーダー 太田春樹さん
 リーダー 出井肇さん

《南関東》

海ほたる

定点 青木愛さん
 定点 安藤亮介さん
 飛距離 鈴木雄大さん
 飛距離 豊田勝也さん
 リーダー 後藤克正さん
 リーダー 藤島徹さん

《北陸・信越》

チーム北陸道

定点 荒井成美さん
 定点 佐々木雪乃さん
 飛距離 岩崎一朗さん
 飛距離 山下政大さん
 リーダー 下島喜一さん
 リーダー 大滝記子さん

《東海第一》

ブルーインパルス

定点 鈴木まこさん
 定点 松岡優弥さん
 飛距離 河合真衣さん
 飛距離 椎木咲也子さん
 リーダー 新貝文也さん
 リーダー 河合祥代さん

《東海第二》

モリコロチーム

定点 松岡茉優さん
 定点 岩田浩幸さん
 飛距離 尾関優作さん
 飛距離 山田侑輝さん
 リーダー 日比野憲一さん

《東海第三》

かがみがはらキャロット

定点 後藤里咲さん
 定点 森本光穂さん
 飛距離 小峰陸生さん
 飛距離 武内健太さん
 リーダー 土屋健嗣さん

《近畿》

フライト・フォース近畿

定点 大参英人さん
 定点 坂本康介さん
 飛距離 松本衣未さん
 飛距離 星村駿さん
 リーダー 竹原秀也さん
 リーダー 岡田治子さん

《中国》

八雲ホシカミ・呉やまと

定点 安原優輝さん
 定点 亀崎理生さん
 飛距離 岡本岳さん
 飛距離 東直弥さん
 リーダー 亀山英嗣さん
 リーダー 亀崎直之さん

《四国》

愛媛松山ジェネシス

定点 大西健太郎さん
 定点 前田哲郎さん
 飛距離 山田航平さん
 飛距離 永井ひかるさん
 リーダー 立石康さん

《九州第一》

セブズ

定点 石松賢信さん
 定点 高山大さん
 飛距離 花田泰智さん
 飛距離 宮崎翔也さん
 リーダー 鎌倉康裕さん
 リーダー 川田政昭さん

《九州第二》

薩摩連合

定点 田嶋一規さん
 定点 是枝樹さん
 飛距離 高橋雅史さん
 飛距離 田中由愛さん
 リーダー 高田一広さん
 リーダー 田嶋一樹さん

《沖縄》

名護分団

定点 坂下元さん
 定点 中澤向陽さん
 飛距離 比嘉風輝さん
 飛距離 花城翔五さん
 リーダー 米原英樹さん
 リーダー 坂下光洋さん

- トップ
- イントロ
- 競技内容
- 地区大会
- お問い合わせ
- 参加チーム
- 結果

結果

総合

- 総合優勝** 《近畿》フライト・フォース近畿
- 総合2位** 《東海第三》かがみかはらキャロット
- 総合3位** 《東海第二》モリコロチーム

定点競技

- 優勝** 松岡 茉優さん 16.33
(目標からの距離 1回目:2.37m 2回目:1.3m)
 - 2位** 坂本 康介さん 14.90
(目標からの距離 1回目:3.77m 2回目:1.33m)
 - 3位** 森本 光稀さん 14.85
(目標からの距離 1回目:2.41m 2回目:2.74m)
- ※得点は(10-的からの距離)2回打ち上げた分を足したもの

飛距離競技

- 優勝** 石橋 毅風さん 156.11m
- 2位** 松本 衣未さん 125.48m
- 3位** 武内 健太さん 125.45m

※2回打ち上げたうち、より遠くまで飛んだもの

Ariane 賞 コンテストへの取り組みが評価されたチーム
《沖縄》名護分団

CNES 賞 創意工夫したデザイン設計が認められた個人
比嘉 風輝さん

JAL 賞 チームワークが認められたチーム
《北海道》ペアーズ

愛・地球博記念特別賞 元気で明るく大会を盛り上げたチーム
《四国》愛媛松山ジェネシス

平成22年度YAC活動について

1. 21年度同様、①共通プログラム、②月別トピック、③モデル活動の3段階に分けて計画。

①共通プログラム

YAC団員が必ず取り組むプログラムとして、22年度は、「ロケット・人工衛星・ISSプログラム」・「宇宙アサガオの栽培」・「2011 YAC夢プロジェクト」を選定。

②月別トピック

各月のトピックに関する情報を提示。

③モデル活動

各月のモデルとなる活動を提示。

※②～③については、宇宙教育だよりとしてEメール配信をおこなう

2. 共通プログラムを実施するにあたっての目標として、①水ロケットの全国大会(9月18-19日)、②子ども衛星アイデアコンテスト(9月～10月)を実施。

3. 上記とは別に、ホンモノ体験活動を本部活動として提供。

4. YAC団員向けに、宇宙教育テレビ(月2回)、宇宙のとびらの配布(年4回)、宇宙教材の配布(年5回)、YAC通信(配布物に封入)を実施。

5. 中・高校生向けのプログラムとして、缶サット・モデルロケットプログラムを実施

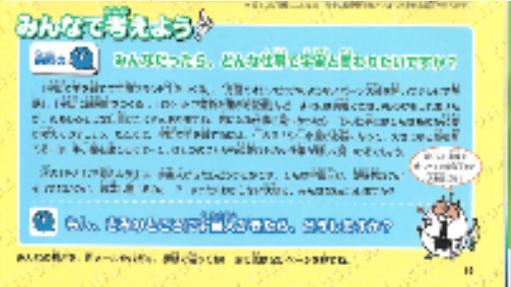
22年度活動

共通プログラム	「ロケット・人工衛星・ISSプログラム」											
	「宇宙アサガオの栽培」・「2011夢プロジェクト」											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月別トピック	山崎副団長の帰還 ハッブル20周年 ALMA計画 Yuri's night など	金星探査機「あかつき」 打上げ	はやぶさの地球帰還	すざく5周年	準天頂衛星「みちびき」 打上げ	宇宙の日 (9/12)	ISS長期滞在開始から10年 世界宇宙週間	文化の日 芸術の秋	航空100年 皆既月食 日本人有人飛行20年	H-IIBロケット2号機 打上げ	商業旅行開始?	古川副団長 宇宙へ (2011春)
モデル活動	中華なべのBSアンテナ (活動教材集)	いちばん星見つけた みんなで金星を観察しよう (JAXA KUMMA連携)	作文・絵画コンテスト (4月~7月)	放射線を見よう! (活動教材集)	GPSで宝さがし (活動教材集)	子ども衛星アイデア コンテスト 12/1-1/31	宇宙服 宇宙食 選抜試験 (活動教材集)	宇宙で音楽を奏でよう	月食観察 航空関連 (活動教材集)	画用紙 火薬ロケット (活動教材集)	微小重力状態の観察 (活動教材集)	宇宙服 宇宙食 選抜試験 (活動教材集)
ホンモノ体験活動	つくばスペースキャンプ 毎月1回 (調整中)	ロケット 打上げ見学 体験活動	ペーパークラフト 人工衛星 (はやぶさ) (活動教材集)	種子島 スペースキャンプ 8/9-13 小4-中3	ロケット 打上げ見学 体験活動	調布 スペース キャンプ	ロケット 打上げ見学 体験活動	NASA 2大宇宙センター 体験活動 (時期未定)				
YAC本部活動	宇宙教育テレビ(月2回)／宇宙のとびら(年4回)／宇宙教材の配布(年5回)／YAC通信(配布物に封入)											
中・高校生プログラム	缶サット・モデルロケット											

YAC会員向け配布教材

子ども宇宙教育活動用教材の製作及び配布

(平成22年4月～平成23年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
YAC教材発行(テーマ)	金星／惑星関連 	 金星や火星は、地球と同じく、一層の厚い大気層がある。	測位衛星／地球観測衛星 				有人宇宙飛行 			天文 		
宇宙のとびら発行												
												 宇宙のとびら 連載コーナー「みんなで考えよう」 の分団での取り組み

(共通プログラム)

1. 水ロケットコンテスト2010

日程:2010年9月18-19日

場所:愛・地球博記念公園(愛知県長久手町)

※地区からの代表(リーダーを含む)は、8月10日迄に本部に報告をお願いします。

2. 宇宙アサガオの栽培

・3月 山崎直子宇宙飛行士の公式飛行記念品として、朝顔の種が、宇宙へ行く予定。
(朝顔の種は昨年9月に種子島宇宙センターで採取)

・5月～9月

希望分団に可能な範囲の数で配布し、分団で栽培する。

但し、栽培記録の提出、種の採取を義務付けます。

3. 2011YAC夢プロジェクト

・「種子島行き2011夢シート」&「自分用夢シート」を12月の配布物に封入。(ダウンロード(カラー版)も対応)

・シートを切り取り、ロケット型シートに、「名前」、「2011年あなたの夢・目標」「日付」を書いてYAC本部に送付。

・ロケットの折り紙に記入した宇宙への夢を、種子島宇宙センター所長に届け、センター内にある宇宙科学技術館にて1年間掲示する予定。